

## 第 5 章 数値目標及び参考指標

一般廃棄物の排出量の実績及び見込み、国の目標値、今後実施する施策の効果等を勘案し、令和元年度を基準年度、令和 7 年度を目標年度として、次のとおり数値目標及び参考指標を設定します。

### 第 1 節 数値目標

#### 1 1 人 1 日 当 たり の ご み 排 出 量

項目		年度	令和 7 年度	
		令和元年度	推計値	目標値
1 人 1 日 当 たり の ご み 排 出 量		938g/人・日	910g/人・日	<b>870g/人・日</b>
内 訳	家庭系ごみ	586g/人・日 (525g/人・日) <sup>1</sup>	560g/人・日 (517g/人・日)	<b>531g/人・日</b> <b>(466g/人・日)</b>
	集団回収	7g/人・日	4g/人・日	<b>4g/人・日</b>
	事業系ごみ	346g/人・日	346g/人・日	<b>335g/人・日</b>

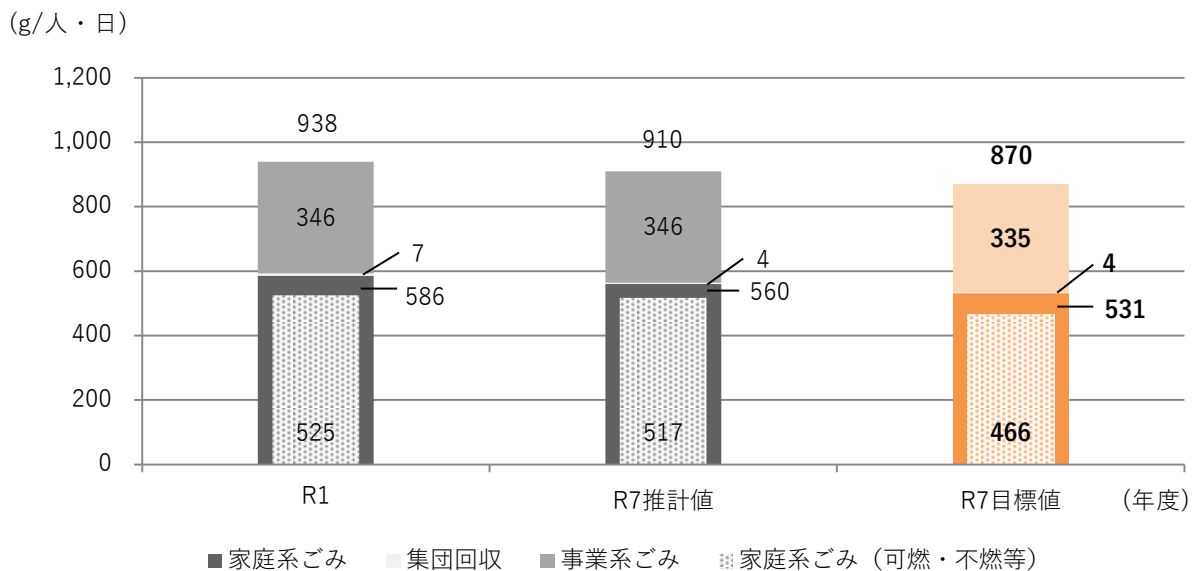


図 1-1 1 人 1 日 当 たり の ご み 排 出 量

1 カッコ内は、家庭系ごみのうち、資源物を除いた排出量（以下「家庭系ごみ（可燃・不燃等）」という。）

(1) 家庭系ごみの目標値

推計値から1人1日当たり29グラムの削減を図り、令和元年度実績から1人1日当たり55グラム減量することとします。

また、家庭系ごみ(可燃・不燃等)については、推計値から1人1日当たり51グラムの削減を図り、令和元年度実績から1人1日当たり59グラム減量することを目標とします。

可燃ごみ及び不燃ごみの組成区分ごとの削減目標は次のとおりです。

表 1-1 家庭系ごみ(可燃ごみ及び不燃ごみ)の削減目標

区分	組成区分		推計値からの削減目標		摘要
			割合	量	
可燃ごみ	生ごみ (厨芥類)	水分(調理くず)	-5%	4g 減	減量化
		食品ロス	-25%	14g 減	減量化
	紙類	古紙類	-50%	22g 減	資源化(古紙類へ)
		牛乳パック	-100%	2g 減	資源化(店頭回収へ)
	高分子類	色付きトレー	-25%	0g 減	資源化(店頭回収へ)
		プラ製容器包装	-5%	2g 減	資源化(店頭回収へ)
レジ袋		-50%	4g 減	減量化	
不燃ごみ	ガラス類	飲料・食品用ビン	-50%	1g 減	資源化(缶・ビン類へ)
	金属類	スチール缶	-100%	0g 減	資源化(缶・ビン類へ)
	小型家電		-10%	0g 減	資源化(小型家電へ)
	高分子類	プラ製容器包装	-10%	0g 減	減量化

※0g減となっている項目は、削減するものの、値が小さいため0となったもの。

(2) 集団回収の目標値

令和7年度の推計値と同値とします。

(3) 事業系ごみの目標値

令和元年度の実績値及び令和7年度の推計値から11グラム(3パーセント)減量することを目標とします。

## 2 最終処分率

項目	年度	令和元年度	令和7年度
		実績値	目標値
最終処分率		3.6%	<b>3.6%</b>

令和元年度の実績値を維持することを目標とします。

## 第2節 参考指標

参考指標は、推移の把握及び施策の点検・評価を目的として設定します。

参考指標	令和元年度実績値
1 リサイクル率	16.2%
2 家庭系可燃ごみに含まれる資源物の割合	9.8%
3 家庭系不燃ごみに含まれる資源物の割合	18.2%
4 エネルギー回収量	405kWh/t
5 廃棄物処理に伴う温室効果ガス排出量	8,475t-CO <sub>2</sub>
6 ごみ処理に係る経費	支出額 252,700 万円※

※H30 年度実績値